

環境経営レポート

2019年度; 2019年4月～2020年3月



発行日 : 2020年 9月 18日

エフディ フューチャー 株式会社

目次

	ページ
1. 環境経営方針	1
・ 環境理念 ・ 行動指針	
2. 会社概要	2
3. 対象範囲	
4. 1) EA21 推進体制	
2) 役割・責任・権限	3
5. 環境経営実績（環境への負荷の現状）	4
6. 環境経営目標（2020年から 2022年までの目標）	5
7. 環境経営活動状況報告（昨年度比較）	6
8. 環境経営活動計画（2018年度基準から）	7
9. 環境経営活動計画と、その評価（2018年度比較）	8
10. 法的要求事項などの遵守状況管理表一覧	9
11. 代表者による全体の評価と見直し	10

環境経営方針

【環境理念】

当社は、地球環境保全が人類共通の重大な責務である事を認識し「**恵み豊かな生活と次世代への継承**」を実現するために、以下の行動指針を推進していきます。

【行動指針】

1. 環境に関する法令や条例、その他規制を受ける事項を遵守します。
2. 当社が行う事業活動が環境に与える影響の中で、特に以下の項目について優先的に活動し、継続的に環境負荷の削減に努めます。
 - ①省エネルギーに努め、CO₂の削減に取り組めます。
 - ②工程の改善による原材料ロス低減と良品率向上や適正な分別の実施により、廃棄物の発生抑制と減量化・リサイクル向上に取り組めます。
 - ③適正な包装設計を行なうと共に包装の簡易化に努めて、環境負荷低減を図ります。
 - ④機械の点検・整備を確実にを行い、効率化を図るとともに、事故・不具合発生を未然に防止する。
3. 全従業員が環境方針を理解し、自らの役割を認識し、本方針に沿って、活動が行われるように環境教育を進めます。

改定 2018年 3月 31日
制定 2012年 7月 1日

代表取締役 社長 加茂善弘

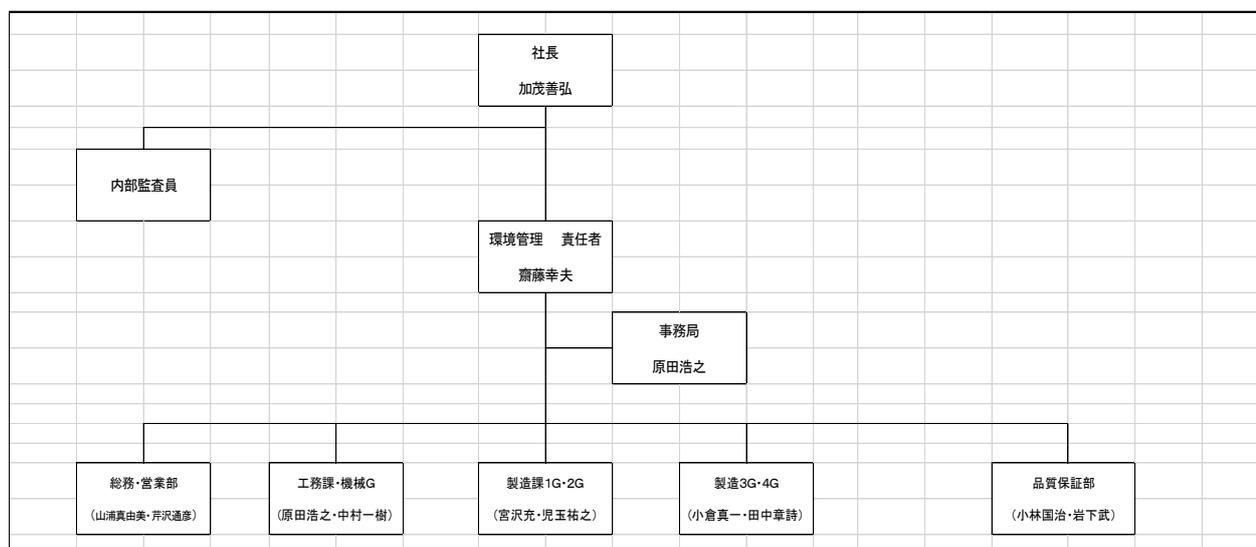
2. 会社概要 (2019年度)

- (1)事業社名 エフディフューチャー 株式会社
 (2)設立 昭和36年10月26日
 (3)資本金 3,000万円
 (4)代表社名 代表取締役社長 加茂 善弘
 (5)所在地 本 社: 〒386-0403 長野県上田市腰越1544番地
 TEL 0268-42-3151 FAX 0268-42-3724
 丸子工場: 〒386-0403 長野県上田市腰越1544番地
 武石工場: 〒386-0506 長野県上田市武石下本入30番地
 (6)延床面積 8,191㎡
 (7)事業内容 真空凍結乾燥食品(味噌・野菜・果実等)、
 調味食品・健康関連食品・即席麺用具材包装等
 (8)従業員数 81 名
 (9)売上高 273,400万円
 (10)環境管理責任者 製造担当 工務課長 齋藤幸夫
 連絡先 TEL 0268-42-3154
 携帯電話 090-6489-8244
 E-mail: saitoh@fd-future.co.jp

3. 対象範囲 全社・全活動を対象とする

- (1)対象事業所 本社・丸子工場、武石工場
 (2)事業範囲 真空凍結乾燥食品(味噌・野菜・果実等)の製造・販売、
 調味食品・健康関連食品・即席麺用具材包装等の製造・販売

4-1. エコアクション21推進体制



4-2. 役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代表者として環境経営全般に関して責任と権限を持つ 2. 環境管理責任者を任命しEA21の運用に責任と権限を与える。 3. 環境経営方針を策定し、従業員に周知する。 4. EMSの実施及び管理に必要な(人・物・金)への投資の承認 5. エコアクション21全体の取組状況に関し、評価・見直しを実施する。
環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. エコアクション21の要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行して、環境面の実績を向上させる。 2. 上記結果を代表者に報告する。 3. エコアクション21文書類(環境経営方針を除く)の承認を行う。 4. EMS全般の舵取りを実施
環境安全衛生委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境委員会(安全衛生委員会)での、指摘・指示事項を全従業員へ周知する。 2. 環境管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決策を立案する。
EA21事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境への負荷及び取組の自己チェックと取りまとめ 2. 環境経営目標・環境改善項目の取りまとめ 3. 環境関連法規則の遵守状況の確認及び情報収集 4. 環境経営計画兼進捗管理表による状況報告及び評価 5. 社内外の環境情報の収集と伝達を実施する 6. 環境経営レポートの作成及び外部コミュニケーションへ記録
職長及び全従業員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営方針を理解し対応をしていく 2. 職場毎に、関連する法規制などを遵守する 3. 職場毎に、教育・訓練を実施する

5. 環境経営実績
環境への負荷の現状

環境方針	環境目標	基準値	数量単	2019年			備考
		2018年		目標値	実績値	目標達成率(%)	
CO ₂ の削減 (前年比-1%削減)	電気使用量の削減	356.8	万kWh	353	371.350	95.12	今年は、猛暑の為水温上昇し電気代が嵩み重油代が減少した。
	CO ₂ 換算	1612.7	t-CO ₂	1597	1678.5		
	A重油使用量の削減	435.0	kL	431	413.143	104.24	
	CO ₂ 換算	1178.9	t-CO ₂	1167.062	1119.6		
	ガソリン使用量の削減	0.632	kL	0.626	0.616	101.57	運送会社利用削減化
	CO ₂ 換算	1.47	t-CO ₂	1.452	1.43		
	軽油使用量の削減	2.800	kL	2.772	2.954	93.84	
	CO ₂ 換算	0.52	t-CO ₂	0.516	7.6		
	LPG使用量の削減	0.426	t	0.422	0.310	136.05	
	CO ₂ 換算	1.3	t-CO ₂	1.265	0.9		
	CO ₂ 合計	2794.9	t-CO ₂	2766.9	2808.1	98.53	
原油換算値	1339.0	kL	1325.610	1355.00	97.83		
廃棄物の削減 (前年比-2%削減)	一般廃棄物の削減 (目標の数値はたてません)	3.39	kg		2.54		包装形態の影響大
	産業廃棄物の削減	107.0	t	104.86	113.96	92.01	
	原油換算値	0.08		0.079	0.084	94.05	
	動植物残渣の削減	20.54	t	20.13	25.16	80.00	
食品リサイクル率の向上 (前年比+1%向上)	食品リサイクル率の向上	67.90 (2012年度)	%	74.9	80.85	107.90	
節水 (前年比-1%削減)	水の効率的な使用	16,356	m ³	16,192	19,373	83.58	昨年導入したDRYポンプの冷却水分が影響 電気代は下がった
	原油換算値	12.22		12.21	14.30	83.43	

2019年 長野県環境部環境政策課 中部電力ミライズ 電気排出係数 0.452を使用する。

※ LPGは、 m³ ⇒ x2.18にて換算 (142.5m³) です。

※ 食品リサイクル率は、2012年度の67.9%を基準値とし毎年1%ずつ向上を目標とする。

※ 水の使用量の管理は請求書にて記載 今回は、2月7日から4月7日分での請求でなので4月分は日割りにて算出。(負荷の自己チェック表参照)

6. 環境経営目標

2020年度～2022年度までの目標値

環境方針	環境目標	目標値設定		数量 単位	環境目標値				備考
		基準年 (2019年度)の実測値			6ヶ月の目標	2020年度	2021年度	2022年度	
CO ₂ の削減 (前年比-1%削減)	電気使用量の削減	371.350		万kWh	183.8	367.6	364.0	360.3	1%→ 3.71万kWh
	CO ₂ 換算	1678.5		t-CO ₂	830.9	1661.7	1645.1	1628.5	1%→ 20.61-CO2
	A重油使用量の削減	413.143		kL	204.5	409.0	404.9	400.8	1%→ 4.13kL
	CO ₂ 換算	1119.6		t-CO ₂	554.2	1108.4	1097.3	1086.3	1%→ 11.92t-CO2
	ガソリン使用量の削減	0.610		kL	0.302	0.604	0.598	0.592	1%→ 0.06kL
	CO ₂ 換算	1.42		t-CO ₂	0.7	1.4	1.4	1.4	1%→ 0.01t-CO2
	軽油使用量の削減	2.954		kL	1.46	2.92	2.90	2.87	1%→ 0.03KL
	CO ₂ 換算	7.62		t-CO ₂	3.8	7.5	7.6	7.5	1%→ 0.08t-CO2
	LPG使用量の削減	0.310		t	0.153	0.307	0.304	0.301	1%→ 0.003t
	CO ₂ 換算	0.9		t-CO ₂	0.5	0.9	0.9	0.9	1%→ 0.009t-CO2
	CO ₂ 合計	2808.1		t-CO ₂	1390.0	2780.0	2752.3	2724.5	1%→ 31.90t-CO2
	原油換算値	1355.00		kL	670.7	1341.5	1328.0	1314.8	1%→ 13.55KL
廃棄物の削減 (前年比-2%削減)	廃棄物の削減	113.96		t	55.8	111.7	109.4	107.2	2%→ 2.28t
	廃棄物削減/原油換算原単位	0.084			0.083	0.083	0.082	0.082	
	動植物残渣の削減	25.16		t	12.3	24.7	24.2	23.7	2%→ 0.50t
食品リサイクル の削減 (前年比 -1%削減)	リサイクル率の向上%	67.9 (2012年度)		%	74.9	74.9	75.9	76.9	1%UP→0.68
節水 (前年比-1%削減)	水の効率的な使用	19,186		m ³	9590	18994	18804	18614	1%→ 191m3
	水使用量/原油換算原単位	14.16			14.30	14.02	13.88	13.74	

備考欄 .. 昨年より 原単位を 売り上げ高 から 原油換算へ変更しています。

2017年度 1,299KL 2018年度 1,339KL 2019年 1,355KL

環境責任者

齋藤

7. 2019年度の環境経営活動状況報告 (昨年度比較)

2019年度目標	部署	達成状況(原単位)	評価(結果と内容)
電気使用量の1%削減 ・FD効率的乾燥 ・エアコンの定期清掃・稼動抑制 ・エア-漏れ点検・修繕の徹底 ・省エネ型照明器具への転換	全社	昨年実績;356.8万kWh(0.27) 目 標 ;353.2万kWh(0.27) 実 績 ;371.35万kWh(0.27)	○ 目標未達; 95. 11% 前年比では96. 01%、
重油使用量の1%削減 ・蒸気ドレトラップの点検 ・蒸気漏れ・管保温の徹底	FD係	昨年実績;435.0kL (0.32) 目 標 ;430.7kL(0.32) 実 績 ;413kL (0.30)	◎ 目標達成;104. 13% 前年比では105. 33%、
ガソリン 使用量の1%削減 ・エコドライブ運動展開	全社	昨年実績;0.632kL (0.0005) 目 標 ;0.63kL(0.0005) 実 績 ;0.610kL (0.0005)	◎ 目標達成;103. 28% 前年比では103. 61%、
軽油 使用量の1%削減 ・エコドライブ運動展開	全社	昨年実績;2.80kL (0.002) 目 標 ;2.77kL(0.002) 実 績 ;2.95kL (0.002)	○ 目標未達成;93. 90% 前年比では94. 91%、
LPG 使用量の1%削減 ・タイマーの設置	全社	昨年実績;0.426t (0.0003) 目 標 ;0.421t (0.0003) 実 績 ;0.310t (0.0002)	◎ 目標達成;135. 8% 前年比では137. 41%、
CO₂の削減	全社	昨年実績;2,794.9t (2.06) 目 標 ;2,766.9t (2.04) 実 績 ;2,808.1t (2.07)	○ 目標未達;98. 53% (98.55) 前年比では 99. 53% (99.52)
廃棄物の削減 ・各課での不良品削減 ・選別品の外注依頼	全社	昨年実績;107.0t (0.079) 目 標 ;104.86t (0.079) 実 績 ;113.97t (0.084)	△ 目標未達;90.01% (94.04) 前年比では93.89% (94.04)
節水 ・節水運動	全社	昨年実績;16,356m ³ (12.21) 目 標 ;16192m ³ (12.21) 実 績 ;19,373m ³ (14.30)	△ 目標未達;83.58% (85.38) 前年比では84.42%
グリーン購入の促進 ・コピー用紙節約	全社	昨年実績;173,000枚 目 標 ;171,270枚 実 績 ;183,000枚	△ 目標未達;93. 59% 前年度比 94. 53%
食品リサイクルの推進 ・発生量 1%削減 ・発生抑制量 ・再生利用量 ・熱回収量 ・廃棄物としての処分量 ・再生利用実施率 1%向上	全体	昨年実績;20. 54 実 績 ; 25. 16t 実 績 ; 38. 54t 実 績 ; 2. 86t 実 績 ; 10. 63t 実 績 ; 11. 67t 2012年実績;67. 9% 目 標 ;74. 9% 実 績 ; 80. 9%	◎ 目標達成;108. 0%

評価 ◎: 100以上 ○: 99 ~ 95 △: 95 ~ 80 ×: 80以下
 原油換算値(原単位) 昨年 1,339KL 目標 1,326KL 実績 1,355kL

8. EA21環境経営活動計画(18年度基準から)

作成:2020年 8 月15 日

x0.96 134

評価 : ○: 活動出来た △: あと一歩 ×: 不十分

環境目標	責任部門 (責任者)	チェック 頻度	基準年 2018年度	数量 単 位	目標年(2019年度) 目標値		環境活動計画 (具体的な取組内容)	責任者	実施月						評 価	実施月						評 価			
					上期	通期			4月 5月 6月 7月 8月 9月							10月 11月 12月 1月 2月 3月									
									○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○				
電気使用量の削減	FD係+ 全社	6ヶ月 毎	356.8	万KWh	176.5	353.0	冷風機デマンド君購入にて空調機の稼働を減少させる	原田主任						△											○
							エアコンの効率的な使用(就業時以外では、ミマム運転)	児玉課長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
							冷暖房の設定温度事務所厳守(夏季28℃冬季20℃)	中村係長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
							空調フィルターの定期的清掃(毎週金曜日実施)	太田係長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
							使用していない間の照明の消灯	市村主任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
重油使用量の削減	FD係	6ヶ月 毎	435.0	KL	215.5	431.0	蒸気漏れ・管保温の徹底(月に一度目視にて確認)	児玉課長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
							2重釜等の加熱開始時間の見直し(生産開始の40分前)	阿不主任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
							GWとお盆休暇でのボイラー運転の見直し	中村主任	○	○										○					
							窓の隙間をコーキングし漏れ対策	市村主任							○										
ガソリン 使用量の削減	全社	6ヶ月 毎	0.63	KL	0.31	0.626	エコドライブ運動展開	佐竹主任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△				
							自動車整備の強化(タイヤ空気圧適時確認)	佐竹主任		○				○						○					
							アイドリング運転時間の削減(4分以内とする)	佐竹主任		○		○	○	○	○	○	○	△	×	×		△			
							余分な荷物を積まない	佐竹主任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
軽油 使用量の削減	全社	6ヶ月 毎	2.80	KL	1.39	2.77	エコドライブ運動展開	千野主任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△				
							アイドリング運転時間の削減(4分以内とする)	千野主任	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	△					
							自動車整備の強化(整備不良による燃費のロス削減)	千野主任						○						○					
							余分な荷物を積まない	千野主任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
LPG 使用量の削減	全社	6ヶ月 毎	0.43	t	0.21	0.42	魔法瓶の活用化 給湯器の使用限度を減少させる	山浦課代						○								○	○		
廃棄物の削減	全社	6ヶ月 毎	107.0	t	52.43	104.9	各課での不良品の削減	児玉課長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
							廃棄物の分別化(有価に出来るものは分別する)	小倉課代	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
							包装不良の削減	市村主任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
							選別工程の外注化	千野主任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
食品リサイクル率 UP	全社	6ヶ月 毎	67.9 (12年度)	%	74.9	74.9	各課での不良品の削減	児玉課長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
							廃棄物の分別化(有価に出来るものは分別する)	小倉課代	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
							包装不良の削減	市村主任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
							選別工程の外注化	千野主任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
							リサイクルできる事業所を選出	原田主任				○		○											
水の効率的 使用	全社	6ヶ月 毎	16,356	m ³	8096.22	16,192	節水の指導	児玉課長						○								○	○		
							漏水の確認	阿不主任						○						○					

備考欄…… ① 2019年度 野菜場前処理室に 消費電力量を削減できた。冷風機デマンド君を新設し空調機の使用を減少しようとしたが、あまり効果がなかった。

② 冷凍機が長期使用しているため(設置後25年位) 故障やコイルの熱伝導率が低下し電力量を余剰に使用している。(新冷媒対応機が開発されていないため対応困難 現在 NH3 or R-448を検討)

③ 軽油使用量増加はTPM活動にて、運送業者依頼分を弊社で賄いコストダウンを実施したため

④ 水道使用量増加は、昨年導入したドライポンプが、電気代は削減できたが冷却用水の過剰供給により(現在は、水量調整済)

⑤ 7月4日 2号館4階の空調機をインバーター式に更新。

※ 電気使用量削減できなかった要因 猛暑の為 熱中症対策で空調機のフル使用(平年は、デマンド管理にて設定使用時オーバーの場合空調機の停止も実施していた。)

9. 2019年度環境経営活動計画書とその評価(2018年度比)

作成:2020年 8 月 15日

工務課	
承認	作成

年度目標	6ヶ月の目標	施策	責任者	2019年度	
				4月～9月 評価と是正	10月～3月 評価と是正
電気使用量の削減 1年後使用量1%削減 356.8万kWh ↓ 353.23万kWh	昨年使用量比0.5%削減 176.62万kWh	FD効率的乾燥(真空ポンプ運転時間見直し) エアコンの効率的使用(就業時以外では、ミニムム運転) 冷暖房の設定温度事務所厳守(夏季28℃冬季20℃) 空調フィルターの定期的清掃(毎週金曜日実施) 使用していない間の照明の消灯 計画電力量(kWh) 同累計(kWh) 電力量実績(kWh) 同累計(kWh)	児玉課長 中村主任 中村係長 太田係長 市村主任 田中主任	176.62万kWh ⇒ 187.65万kWh	176.62万kWh ⇒ 183.7万kWh
			評価	△ 94% 未達	○ 96%未達
重油使用量の削減 1年後使用量1%削減 435kL ↓ 431kL	昨年使用量比0.5%削減 215.5KL	蒸気漏れの点検(月に一度見直し) 2重釜等の加熱開始時間の見直し 燃料使用計画量(kL) 同累計(kL) 燃料使用量実績(kL) 同累計(kL)	児玉課長 阿不主任 中村主任 原田主任	215.5KL ⇒ 182.0KL	215.5KL ⇒ 231.0KL
			評価	◎ 118% 夏季の為順調	△ 93% 未達
ガソリンの削減 1年後使用量1%削減 0.632KL ↓ 0.626KL	昨年使用量比0.5%削減 0.313KL	エコドライブ運動展開 自動車整備の強化(整備不良による燃費のロス削減) アイドリング運転時間の削減(5分以内とする) 燃料使用計画量(kL) 同累計(kL) 燃料使用量実績(kL) 同累計(kL)	佐竹主任 千野主任	0.313KL ⇒ 0.316KL	0.313KL ⇒ 0.30KL
			評価	○ 99.05% 未達	◎ 104% 達成
軽油の削減 1年後使用量1%削減 2.8KL ↓ 2.77KL	昨年使用量比0.5%削減 1.38KL	エコドライブ運動展開 自動車整備の強化(整備不良による燃費のロス削減) アイドリング運転時間の削減(5分以内とする) 燃料使用計画量(kL) 同累計(kL) 燃料使用量実績(kL) 同累計(kL)	千野主任 土屋さん	1.38KL ⇒ 1.44KL	1.38KL ⇒ 1.367KL
			評価	○ 96% 未達	◎ 101% 達成
LPGの削減 1年後使用量1%削減 0.43t ↓ 0.42t	昨年使用量比0.5%削減 0.21t	事務所と品証室の魔法瓶の活用化 給湯器の使用頻度を減少させる	山浦課代	0.21t ⇒ 0.15t	0.21t ⇒ 0.16t
			評価	◎ 133% 達成	◎ 131% 達成
産業廃棄物の削減 1年後使用量2%削減 107.0t ↓ 104.86	昨年使用量比1%削減 52.43t	各課での不良品の削減 廃棄物の分別化(有価に出来るものは分別する) 包装不良の削減 廃棄物計画排出量(t) 同累計(t) 産廃実績排出量(t)	児玉課長 小倉課代 市村主任 太田係長 田中主任 齋藤	52.43t ⇒ 49.00t	52.43t ⇒ 64.96t
			評価	◎ 102% 達成	△ 81% 未達
食品リサイクル率の向上 2012年度 規準より 1%ずつ削減 67.90% ↓ 73.90%	毎年率比1%向上 74.90%	各課での不良品の削減 廃棄物の分別化(有価に出来るものは分別する) 包装不良の削減 廃棄物計画排出量(t) 同累計(t) 産廃実績排出量(t)	児玉課長 小倉課代 田中主任 齋藤	74.90%	74.90% ⇒ 80.88%
			評価	、◎ 選別工程 外注化にて良好	、◎ 107.9% 達成
水の効率的使用 1年後使用量1%削減 16.356m3 ↓ 16.192m3	昨年使用量比0.5%削減 8.096m3	節水の指導 漏水の確認(月に一度目視にて確認) 節水表示板取付け 使用計画量(m3) 同累計(m3) 使用量実績(m3) 同累計(m3)	児玉課長 小倉課代 中村主任 原田主任 阿不主任	8.096m3 ⇒ 6.647m3	8.096m3 ⇒ 12.726m3
			評価	◎ 117% 達成	× 62% 未達 事務所漏水も含む

評価 ◎: 100以上

○: 99 ~ 95

△: 95 ~ 80

×: 80 以下

10. 法的要求事項等の遵守状況管理一覧表

確認日：2020年5月15日

- 1) 該当する法規を選択し●、該当しない法規はXを付ける
- 2) 環境基本法等の罰則のない法規は割愛する
- 3) 法的要求事項(行ごと)に遵守状況を記載する

該当●、非該当X

対象事業所：エフディフューチャー㈱

該当	担当部門	法的要求事項等の名称	監視・測定項目 (適用施設・業務等)	法的要求事項の内容及び基準	監視・測定プロセス、使用機器等	遵守状況 ○:遵守、△:対策中、X不適合
●	機械G	消防法(危険物)	危険物(1類~6類)が指定数量 危険物貯蔵施設	危険物貯蔵施設の設置許可(指定数量7.5倍) 危険物取扱者の届出(危険物乙種4類) 貯蔵、取扱の基準の遵守 少量危険物の設置許可(指定数量1/5以下)	タンク内液層・気層年次点検 (ユートピア産業) 地下重油タンク 漏れ点検の実施 点検実施	○ ○ ○ ○
●	工務課	大気汚染防止法	ボイラー (3,600m ³ /h)	設置の届出・変更及び廃止届出 排出基準の遵守(10,000m ³ /h未満の為対象外) ばい煙量の測定及び記録 ボイラー技師資格(ボイラー技能講習以上)	外部委託(三浦工業)	○ ○ ○ ○
●	工務課	水質汚濁防止法	排水処理施設	特定施設の届出・事故時の措置 水質基準の遵守 測定、記録	外部委託(ソイースト社)	○ ○
●	4G	浄化槽法	浄化槽70人槽	施設届出 水質管理(定期点検・清掃)	浄化槽協会による年次点検 外部委託(東京理工器)	○ ○
●	工務課	騒音規制法 上田市公害防止条例	コンプレッサー、送風機(原動機定格出力1.0kw以上)	上田市条例特定施設の設置届出済み(31kw・15kw・8kw) 騒音規制基準(武石工場規定なし)	騒音レベル測定器	○ ○
●	機械G	フロン排出抑制法	第一種特定製品 (業務用エアコン、冷凍冷蔵機器)	・対象機器の特定(7.5kW未満か以上か、50kW以上か) ・簡易点検(自主)、定期点検(有資格者) ・冷媒回収/充填した場合、証明書の交付を受け保管	点検の実施 マニフェストの管理	○
●	工務課	省エネ法	第二種指定工場 原油換算 1,500kl	2010年4月に過去3年間 原油換算にて1,500KLを下回っているので指定取消し申請書を提出済み 毎年確認	弊社にて換算	○
●	工務課	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物 廃プラスチック類、 金属くず、ゴム屑、 ガラスくず及び陶磁器くず、 廃酸、廃アルカリ 感染性廃棄物 食品残渣	一般廃棄物、産業廃棄物保管基準の遵守 一般廃棄物、産業廃棄物の収集、処理委託基準の遵守 産業廃棄物管理票による管理 産業廃棄物管理表交付状況の届出(毎年6月末まで)	産業廃棄物保管表示板 委託契約書 委託契約書 マニフェスト伝票 —	○ ○ ○ ○ ○
●	工務課	食品リサイクル法	食品廃棄物等多量発生事業者	・2012年再生利用実施率 68%を基準値とし、毎年1%ずつ向上する。	食品リサイクル率 100%を目標とする。	○

(2) 環境関連法規制等への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

11. 2019年度 EA21 代表者による全体の評価と見直し

見直した時期: 2020年 9月 3日

エフディフューチャー 株式会社

代表者 :

小島桂一



印

見直しのために提供された情報の確認

チェック

- 1. 環境への負荷・取組み状況
- 2. 環境目標の達成状況
- 3. 是正処置・予防処置の状況
- 4. 前回までの”見直し”結果に対するフォロー
- 5. EA21審査指摘事項に対するフォロー
- 6. 環境関連の法規等の遵守状況

チェック

- 10. 世間一般の環境上の動き
(それと当社との関係)
- 11. 改善のための提案

評価 ○ : 良好
△ : あと一歩
× : 努力不足

※情報提供は、原則として環境管理責任者が行います。

代表者による評価

- 環境経営システムが有効に機能していると思うか ⇒ (○)

コメント ⇒ 近年は、省エネタイプの機器を導入している。

2019年度には、TPM活動を通し品質向上や費用削減につながる活動の運用ができたと思う。

- 環境への取組みは確実に実施されていると思うか ⇒ (○)

コメント ⇒ 2019年度より、組合員による自発的な会社周辺の美化活動を実施できた。

継続的に活動出来るよう検討してほしい

仕組み上の変更の必要性の有無の確認

- 1. 環境方針の変更 ⇒ (要 / 不要)
- 2. 環境目標の変更 ⇒ (要 / 不要)
- 3. 環境活動計画の変更 ⇒ (要 / 不要)
- 4. 環境経営システムの変更 ⇒ (要 / 不要)

【指示内容】

- ① 2020年度は、電気使用量や重油および産業廃棄物をメインに目標を達成できるよう改修などを通して古い設備を効率のよい最新設備へ更新し、予算を検討しながら出来るだけ省エネタイプの商品を選択すること
- ② フロン問題で設備入れ替え時には省エネも検討し早急な対応をするように